

地方創生のための起業促進案

OSS コンソーシアム

教育 ICT 部会・東海支部

2017-01-25



【目次】

I.	はじめに	1
1.	この資料について	1
2.	対象	1
3.	目的	1
4.	著者	1
5.	更新履歴	1
II.	学生の起業について	2
1.	想いと提案	2
2.	狙い	3
3.	参加企業のメリット	3
4.	契約イメージ	4
5.	学校 Web システムに必要な技術・作業概要	5
6.	要望	5
III.	問合せ先・組織情報	6
1.	担当者	6
2.	OSS コンソーシアム	6

1. はじめに

1. この資料について

当資料はOSSコンソーシアム 教育 ICT 部会と東海支部が共同で提案する地方創生のための起業促進案です。

2. 対象

自治体や大学の地域創生、起業、就職の関係者様に向けた資料です。

3. 目的

当資料はOSSコンソーシアム 教育 ICT 部会と東海支部が地方創生のためにできる行動の一つです。

OSSコンソーシアム 教育 ICT 部会と東海支部に参加している企業の技術やノウハウを伝えることで、地方創生としての社会貢献ができることを願っております。

4. 著者

OSS コンソーシアム 理事・教育 ICT 部会リーダー
株式会社オープンソース・ワークショップ 永原 篤
nagahara@opensource-workshop.jp

5. 更新履歴

2017-01-12 : 初版

2017-01-16 : 提案内容など詳細を追加

2017-01-25 : OSS コンソーシアムについての説明を追加

II. 学生の起業について

1. 想いと提案

起案者である永原から、この提案に対する想い。

- 仕事をするなら、できるだけ多くの人の役に立ちたい。社会への貢献度が高い仕事がしたい。
- 上記の想いから、オープンソースというライセンスに対する自由度が高いソフトウェアを扱い、OSS コンソーシアムでの普及活動を行ってきました。また、社会貢献の中でも、教育という分野に着目して、学校のホームページや大学のポータルサイト、情報共有サイトの構築・保守などを仕事する傍ら、コンソーシアムでは教育 ICT 部会という会を作り、教育に対する ICT の貢献方法を模索してきました。
- 学校の仕事を主な業務とする私としては、案件やイベントなどで地方へ訪問することも多くあり、地方創生をどのように進めるかという課題を多くの地域で抱えていることを感じてきました。
- このような状況の中で、私や私の所属する OSS コンソーシアムの中で議論し、実施できる地方創生への貢献を考えたものが、この提案になります。

提案

- 地方での若い人間による起業を促すことで、地方創生の拡大を狙います。
- 起業を成功させるため、営業協力、技術ノウハウを参加企業が提供します。
- 参加企業の持つ技術、例えば、株式会社オープンソース・ワークショップでは、学校ホームページや大学ポータルへの CMS 構築、運営ノウハウ、その他 ICT 技術を伝えます。
- 学生や若手により起業した会社は、参加企業の技術を修得し、卒業を目指してもらいます。
- 例えば、学校ホームページのサーバ運営事業に関する技術ならば、参加企業の中の株式会社オープンソース・ワークショップが OJT の形を取り、継承することができると考えています。
- 営業協力としては、参加企業と地方の若手企業で JV(共同企業体)を結成し、公立学校のホームページ構築などの入札案件に参加することができます。
- 公立以外の案件では、どちらかが契約窓口となり、契約を行うこととなります。
- 地方のイベントでは学生と話すことも多い中で、学生が卒業してすぐに起業することも地方創生の一環となるのではないかと考えています。
- 学生による起業の初めは、地方創生補助金などをきっかけとして開始すれば、起業することの敷居は少し下がるのではないかと考えています。

2. 狙い

以下にこの提案の狙いを記載します。

具体的な方法を記載するため、協力方法は株式会社オープンソース・ワークショップの技術提供を例として記載しているが、参加企業各社の得意とする技術を用いて、同じ狙いを持っていると考えています。

- 学校ホームページのサーバ運営事業はある程度の契約期間が見込める安定した事業の一つであると考えています。そのため、地方での起業や若手による起業には良い仕事になると考えています。
- 株式会社オープンソース・ワークショップから行う OJT では、学校ホームページや大学ポータルといった、非常に狭い領域ではあるが、特化した技術・運用知識を習得することができます。
- 特化した技術・運用知識を身につけることで、急成長はできなくても、地域に長く存続できる企業になることはできるのではないかと考えています。
- 特化した技術・運用知識はその地域の案件だけではなく、広く探し求められるものにもなると考えており、他の地域からの仕事の誘致にもつながると考えています。
- この方法での技術修得、営業ノウハウの修得が可能な場合、他の技術も同様に修得することが可能と思われるため、地方で起業した会社の技術力の向上方法として、継続したものにできると考えています。
- OSS コンソーシアム参加企業には、このような特化した技術を持つ企業が多くあります。

3. 参加企業のメリット

この提案は、参加企業がボランティアをするというわけではありません。

以下のように、参加企業にもメリットがあると考えています。

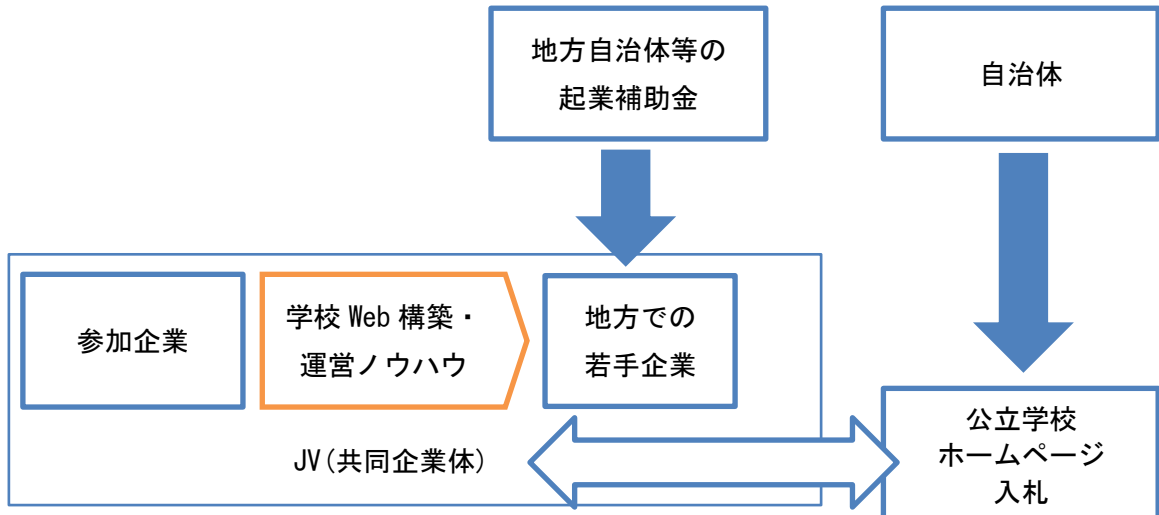
- 得意とする業務で広範な地域の要望、事例を知り、経験できることで、参加企業の問題解決能力を高めることができますようになります。(また、その知識を地方で立ち上がった企業へ共有することができます)
- 各地の案件を地域の起業と一緒にすることは、参加企業の営業活動にもなります。
- 各地の企業が参加企業のパートナーとなってくれば、繁忙期や手が足りない際に外注先として参加企業のパワー不足を補ってくれることを期待できます。

参加企業としてもこのようにメリットがあるため、業務として取り組むことができると考えております。

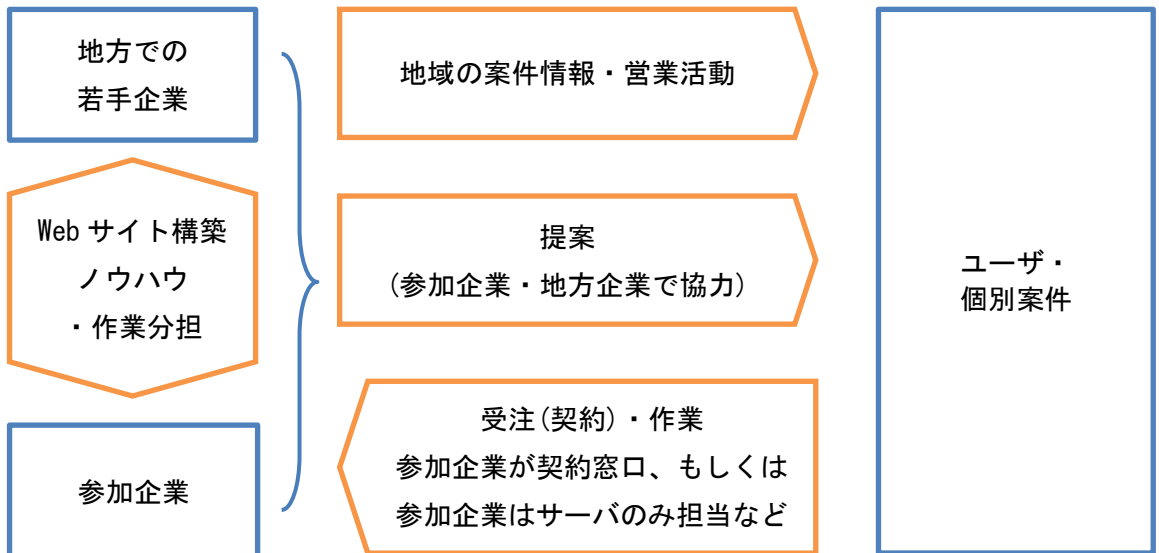
4. 契約イメージ

案件の契約では、ユーザの形態や業務に合わせて、以下のようなパターンが考えられます。
以下は学校の場合の案件に対する契約例です。

- 公共（公立学校など）の案件の場合



- 大学ポータルや一般企業など個別案件

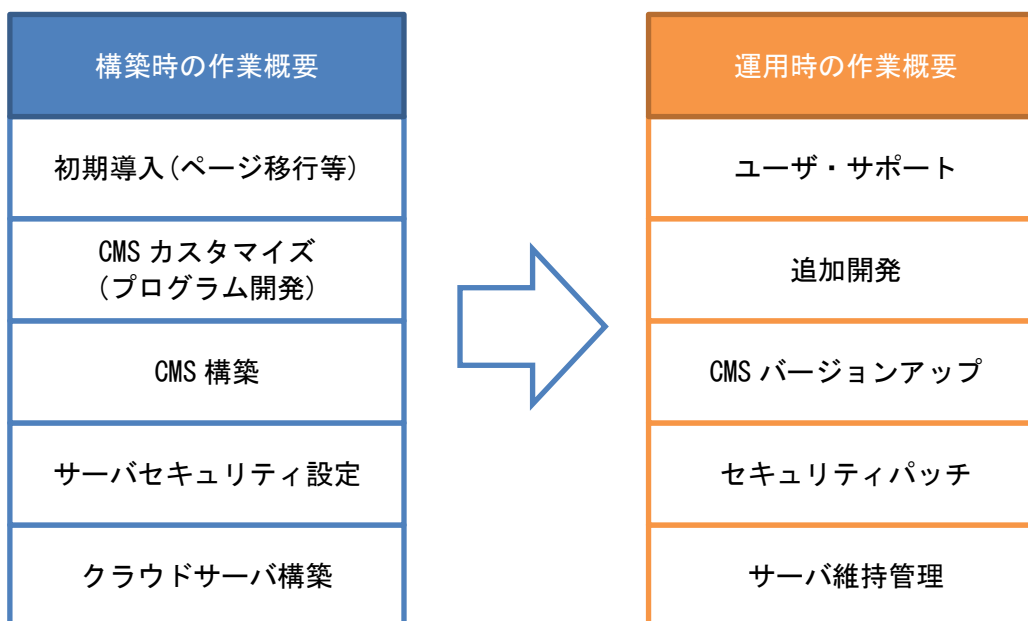


5. 学校 Web システムに必要な技術・作業概要

- 学校ホームページや大学ポータルなどで必要な作業概要

これらの作業に必要な技術を参加企業から継承したいと考えています。

以下の技術要素は例として株式会社オープンソース・ワークショップのものを示しています。



6. 要望

OSS コンソーシアム 教育 ICT 部会と東海支部では、このような若手企業や起業希望者とのように出会えばよいかを模索しています。

自治体様や大学関係者様のご意見やご要望を求めています。

III. 問合せ先・組織情報

1. 担当者

OSS コンソーシアム理事・教育 ICT 部会リーダー
永原 篤 (nagahara@opensource-workshop.jp)
所属：株式会社オープンソース・ワークショップ

OSS コンソーシアム理事・東海支部リーダー
杉本 等 (sugimoto@padrac.ne.jp)
所属：株式会社パドラック

2. OSS コンソーシアム

OSS コンソーシアムとは、業界に通じるコア・メンバーを中心に、成果物を生み出し、オープンソース・ビジネスを推進する団体です。

<https://www.osscons.jp/>

OSS コンソーシアム 教育 ICT 部会と東海支部の参加企業などは以下を参照ください。

- OSS コンソーシアム 教育 ICT 部会

<https://www.osscons.jp/ICT/>

- OSS コンソーシアム 東海支部

<https://www.osscons.jp/tokai/>